

●第 65 回数理社会学会大会の報告申し込みについて (Call for Papers)

第 65 回数理社会学会大会は、2018 年 3 月 14 日 (水)、15 日 (木) の日程で成蹊大学にて開催されます。つきましては、研究報告を下記の要領で募集します。下記の注意事項等を良くお読みの上、奮ってご応募ください。おおむね大会 1 か月前に学会ウェブページでプログラムが公開されます。

1. 募集する報告・企画

(1) 「自由報告」の申込期間は 2018 年 1 月 9 日 (火) ~ 1 月 22 日 (月) (必着) です。

- ・数理・計量社会学あるいはそれと関連する研究領域のなかで、報告者が自由にテーマを選んで報告するものです。
- ・報告形態は口頭発表のみで、発表 15 分、討論 10 分です。英語で報告することができます。
- ・学会ウェブページから「Call for Papers」ファイルをダウンロードしてください。「申込書」と「報告要旨」を同時に提出することで正式の申し込みとします。報告の概要と報告要旨では、すくなくとも「目的・方法」と「結果・考察」に分けて、それぞれ明確に記述してください(報告要旨の節タイトルは変更可)。
- ・登壇者が所定の書類を、第 65 回大会報告申込専用アドレス宛に電子メールで提出してください。報告要旨が報告要旨集に収録されます。
- ・提出期限は 日本時間の 1 月 22 日 (月) 23 時 59 分 59 秒 です。提出期限を過ぎた申込は一切受け付けません。

(2) 「萌芽的セッション報告」の申込期間は 2018 年 1 月 9 日 (火) ~ 1 月 22 日 (月) (必着) です。

- ・萌芽的なアイデア、厳密な定式化には至っていない発展途上の研究などをポスター形式で報告し、オーディエンスとのやりとりを通して発展させることをねらいとします。
- ・報告形態はポスターのみです。最大 A0 判が利用可能です。英語で報告することができます。
- ・学会ウェブページから「Call for Papers」ファイルをダウンロードしてください。「申込書」を提出することで正式の申し込みとします(報告要旨は提出不要)。タイトル、報告の概要、メールアドレスが報告要旨集に記載されます。
- ・報告申込数が多い場合、セッションを大会 1 日目と 2 日目に分割する 2 部制で実施する可能性がありますので、ご了承ください。
- ・登壇者が所定の書類を、第 65 回大会報告申込専用アドレス宛に電子メールで提出してください。
- ・提出期限は 日本時間の 1 月 22 日 (月) 23 時 59 分 59 秒 です。提出期限を過ぎた申込は一切受け付けません。

(3) 「会員発案の特別企画」の申込期間は 2017 年 12 月 18 日 (月) ~ 12 月 25 日 (月) (必着) です。

- ・「会員発案の特別企画」は、課題を設定した部会の編成など、自由報告とは異なる研究報告の企画案を募集するものです。「企画書」を提出することで正式の申し込みとします。企画書の作成方法については、別紙を参照ください。
- ・代表者が書類を、研究事務局に電子メールで提出してください。
- ・提出期限は 日本時間の 12 月 25 日 (月) 23 時 59 分 59 秒 です。提出期限を過ぎた申込は一切受け付けません。
- ・企画の採否を研究活動委員会にて審査し、締切後一週間以内に結果をお知らせします。

2. 報告申込の注意事項 (各報告共通)

(1) 発表日時に関する要望、申し込み後の共著者の追加・変更、タイトルの 変更には応じられません

(2) 1 人が登壇できるのは、「学会賞受賞講演」「シンポジウム」など特別企画を除き、原則 1 回とします(ただし、自由報告と萌芽的セッション報告の登壇は両方できます)。

- (3) 報告要旨集はモノクロ印刷となります。最近、カラーのグラフや画像を用いた要旨原稿の提出が増えておりますが、カラー印刷には対応できませんので、ご注意ください。
- (4) 形式が著しく不備である場合、あるいは内容が著しく不明瞭あるいは学会の趣旨から乖離している場合、自由報告から萌芽的セッション報告に移動していただいたり、受理されない可能性があります。
- (5) 自由報告の報告要旨および萌芽的セッションの「報告の概要」は報告要旨集に収録されます。学会大会では冊子体の報告要旨集が配布されますが、それに先がけて、電子ファイル版の報告要旨集を大会2週間～3週間前に数理社会学会ウェブサイトで先行公開します（迷惑メール対策のため、電子ファイル版要旨集には報告者のメールアドレスは掲載されません）。ウェブ上での報告要旨・報告の概要の公開の可否は、申込書の「ウェブ上での公開」欄で選択できます。

3 申込先

報告希望の方は、下記の第65回大会報告申込専用アドレスにお申込みください。申込が成功した場合、ただちに申込者に受付確認メールが自動的に返信されます（共同報告の場合、受付確認メールは申込者のみに返信されます）。もししばらく待っても受付確認メールが届かなかった場合は、何らかの原因で研究事務局に申込メールが届いていない可能性がありますので、研究事務局にお問い合わせください。なお、ご利用の環境によっては、受付確認メールが迷惑メールに振り分けられてしまう場合がありますので、確認の際はご注意ください。

・第65回大会報告申込専用アドレス（お申込みいただくと受付確認メールが自動的に返信されます）
e-mail : jams65entry[at]gmail.com

・受付確認メールが届かない場合の連絡先（研究事務局）

〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45

慶應義塾大学法学部 竹ノ下弘久

Tel: 03-5427-1097

e-mail : jams.research[at]gmail.com

※メールアドレス内の[at]は@に置き換えてください。

第 65 回数理社会学会大会 (JAMS65 成蹊大学)

自由報告申込書

発表者氏名 (所属) (登壇者 1 名に○)	
登壇者は	1. 数理社会学会会員 2. 非会員
報告タイトル (報告要旨と一致)	
報告言語	1. 日本語 2. 英語
使用機器	1. 会場設置パソコン 2. 持参パソコン 3. その他 ()
種別 (報告内容を大まかに分類してください)	(ア) 主な手法: 1. 数理 2. 計量 3. その他 ()
	(イ) 主な内容: 1. 理論 2. 方法 3. 実証
報告の概要 (各 100 字程度)	(目的・方法)
	(結果・考察)
登壇者連絡先 氏名 住所 電話 E-mail	〒
萌芽的セッション報告への移動	プログラム作成上の都合から萌芽的セッション報告となった場合, 移動に 1. 応じる 2. 応じない (報告を辞退する)
報告要旨のウェブ上での公開	1. 希望する 2. 希望しない
大会報告トラベルグラントに	1. 応募する 2. 応募しない

(以下はトラベルグラント応募者のみ記入, 別紙トラベルグラント Call for Applications 参照)

応募者氏名 (登壇者に限ります)	
応募者は	1. 数理社会学会会員 2. 入会申込書を学会事務局受理済み
他の旅費助成は	1. ない 2. ある () 万円
所属	
職名または学年*	
主な仕事は**	1. 任期のない常勤職 2. 任期のある常勤職 3. 非常勤職 4. 学生
大学院修士課程入学	西暦 () 年 (複数ある場合は最初の入学年) その後研究中断期間は () 年 (なければ 0)
自宅の最寄り駅	駅 (例: JR 九州鹿児島本線古賀駅)

*「専任講師」「助教」「非常勤講師」「修士課程 2 年」など, 複数ある場合はすべて記入.

**日本学術振興会特別研究員は「任期のある常勤職」.

【下記の注意事項をご確認ください】

自由報告申込書 注意事項

(1) 提出方法

・登壇者が申込書（このファイル，必要ページ以外削除），報告要旨（Word ファイルなど），報告要旨印刷用版下（PDF ファイル）の3つを電子メールに添付して，第 65 回大会報告申込専用アドレスに送付してください。

・メールタイトルを「**JAMS65 自由報告申込（氏名）**」，申込書ファイル名を「**JAMS65 自由報告申込書（氏名）**」，報告要旨ファイルを「**JAMS65 報告要旨（氏名）**」のように，登壇者氏名を記入してください（要旨を TeX などで作成する場合は Word ファイル不要）。

(2) 報告要旨作成要領

・報告形態は口頭発表のみです。報告要旨が要旨集に掲載されます。見本ファイルを参照し，以下にしたがって作成してください。見本ファイルに上書きしても結構です。

・要旨集は大会直前に印刷されますので，著者校正はありません。

(ア) サイズと分量：A4 判モノクロ。2 ページか 4 ページのどちらかのみ（図表含む）。

(イ) レイアウトとフォント：上下 30mm，左右 20mm の余白。1 段組。ページ番号は記入しない。原則として日本語は明朝体，英数字は Times New Roman 体。1 ページ目は以下のとおり。

1 行目：タイトル（18 ポイント）

2 行目：サブタイトル（あれば）（14 ポイント）

3 行目：空白

4～6 行目：氏名，所属，メールアドレス。発表者が複数の場合，登壇者氏名の先頭に○印（12 ポイント）

7 行目：空白

8 行目以下：本文（節タイトルはボールド 12 ポイント，本文は 10.5 ポイント）

(ウ) 言語：日本語または英語。

(エ) 要旨集印刷の際に，研究事務局で形式を整えることがある。

(3) 使用機器について

・パソコン用プロジェクタを使用できます。会場設置パソコンは，OS が Windows7，MS Office 2010 を利用可能です。ファイルは当日持参してください（USB メモリが利用可）。

・持参パソコンの場合，Windows ノートパソコンが使用可能で，接続口はミニ D-Sub15 ピンです。Mac を使用する場合は，専用コネクタを準備してください。

第 65 回数理社会学会大会 (JAMS65 成蹊大学)
萌芽的セッション報告申込書

発表者氏名 (所属) (登壇者 1 名に○)	
登壇者は	1. 数理社会学会会員 2. 非会員
報告タイトル	
報告言語	1. 日本語 2. 英語
種別 (報告内容を大まかに分類してください)	(ア) 主な手法: 1. 数理 2. 計量 3. その他 ()
	(イ) 主な内容: 1. 理論 2. 方法 3. 実証
報告の概要 (200 字程度)	
登壇者連絡先 氏名 住所 電話 E-mail	〒
「報告の概要」の ウェブ上での公開	1. 希望する 2. 希望しない
大会報告トラベルグ ラントに	1. 応募する 2. 応募しない

(以下はトラベルグラント応募者のみ記入, 別紙トラベルグラント Call for Applications 参照)

応募者氏名 (登壇者 に限ります)	
応募者は	1. 数理社会学会会員 2. 入会申込書を学会事務局受理済み
他の旅費助成は	1. ない 2. ある () 万円
所属	
職名または学年*	
主な仕事は**	1. 任期のない常勤職 2. 任期のある常勤職 3. 非常勤職 4. 学生
大学院修士課程入学	西暦 () 年 (複数ある場合は最初の入学年) その後研究中断期間は () 年 (なければ 0)
自宅の最寄り駅	駅 (例: JR 九州鹿児島本線古賀駅)

*「専任講師」「助教」「非常勤講師」「修士課程 2 年」など. 複数ある場合はすべて記入.

**日本学術振興会特別研究員は「任期のある常勤職」.

【下記の注意事項をご確認ください】

萌芽的セッション報告申込書 注意事項

(1) 提出方法

- ・登壇者が申込書（このファイル、必要ページ以外削除）を電子メールに添付して、第 65 回大会報告申込専用アドレスに送付してください。報告要旨原稿と報告要旨印刷用版下は不要です。
- ・メールタイトルを「**JAMS65 萌芽申込（氏名）**」、申込書ファイル名を「**JAMS65 萌芽申込書（氏名）**」のように、登壇者氏名を記入してください。

(2) ポスター作成要領

- ・報告形態はポスターのみです。以下にしたがってポスターを作成して、ご持参ください。

（ア）最大で A0 判（横 841mm，縦 1189mm）のスペースが利用可能。ただし、最大の大きさである必要はない。

（イ）ポスターには、発表者全員の氏名・所属と、タイトルを記載。

（ウ）日本語または英語で作成。

（エ）ポスターの貼りつけには画びょうあるいはセロハンテープ使用（いずれも開催校が用意）。